DENTSU DIGITAL **PRESS RELEASE**

株式会社電通デジタル 広報担当
105-7077 東京都港区東新橋 1-8-1
https://www.dentsudigital.co.jp

2026 年 5 月 25 日
株式会社電通デジタル

国内電通グループ、新戦略「AI For Growth 3.0」のもと統合 AI プロダクトを提供開始
－当社グループの実践知に基づく専門 AI 群を、企業のマーケティング活動に実装・運用へ－

国内電通グループの 4 社（電通デジタル、電通、電通総研、イグニション・ポイント）は、“人間の知（＝Intelligence）”と“AI の知”を掛け合わせて顧客や社会の成長に貢献する独自の AI 戦略※1 を「AI For Growth 3.0」へと刷新します。AI 活用をビジョンや一部業務での活動にとどめず、当社グループがマーケティング領域で培った長年の実践知を組み込んだ複数の専門 AI を、企業向けに実装・運用する取り組みを始めます。専門 AI 群を企業の実際の業務プロセスに実装することで、継続的な価値創出に貢献します。その中核として、企業のマーケティングプロセス全体を横断的に支援する統合 AI プロダクトシリーズ「AI For Growth Suite」の提供を本日開始します。

AI For Growth Suite

現在、AI 活用は構想や検証の段階を終え、実際の業務プロセスにどのように組み込み、成果につなげていくかが問われる「実装」のフェーズへと移行しています。その一方で、汎用的な AI を導入するだけでは、企業の意思決定や事業成長に直結する活用には限界があることも明らかになってきました。AI 活用は今、汎用性の追求から、専門性と質を備えた AI を実際の業務にどう根付かせるかという段階に進んでいます。さらに、こうした専門 AI を単体で活用するだけでなく、AI 同士が連携し、自律的に業務を担っていく仕組みの重要性も高まっています。特にマーケティング領域では、生活者理解やブランド価値、クリエイティビティ、メディアプランニングといった高度な専門性や判断が求められるため、AI にも業務や文脈に即した設計と運用、すなわち実践で活躍する「専門 AI エージェント」の存在が不可欠となっています。

このような時代認識の中、新たに打ち出した AI 戦略が「AI For Growth 3.0」です※2。新戦略では、当社グループの長年の専門性や実務知見を AI に組み込み、企業の意思決定や価値創出を支える「マーケティング専門 AI」の開発・提供と、その実装・活用を中核に据えています。その基盤となるのが独自の「PSDCA モデル」※3 であり、従来の PDCA に複数の選択肢や結果を予測するシミュレーション（Simulation）を組み込んでいます。この PSDCA を実現するための dentsu Japan の 2 つのエンジンが、思考や構想を担う「Creative Thinking Model」※4 と、人の行動や価値観を捉える「People Model」※5 です。これらは企業のマーケティング業務全体を横断的に高度化します。

AI For Growth の系譜

1.0：“人”と“AI”の知を掛け合わせる、成長を生む AI 活用ビジョンを提示
2.0：AI アセットを深化させて、マーケティングの AI ネイティブ化を推進
3.0：国内電通グループの実践知を組み込んだ専門 AI 群が、企業のマーケティング活動に実装

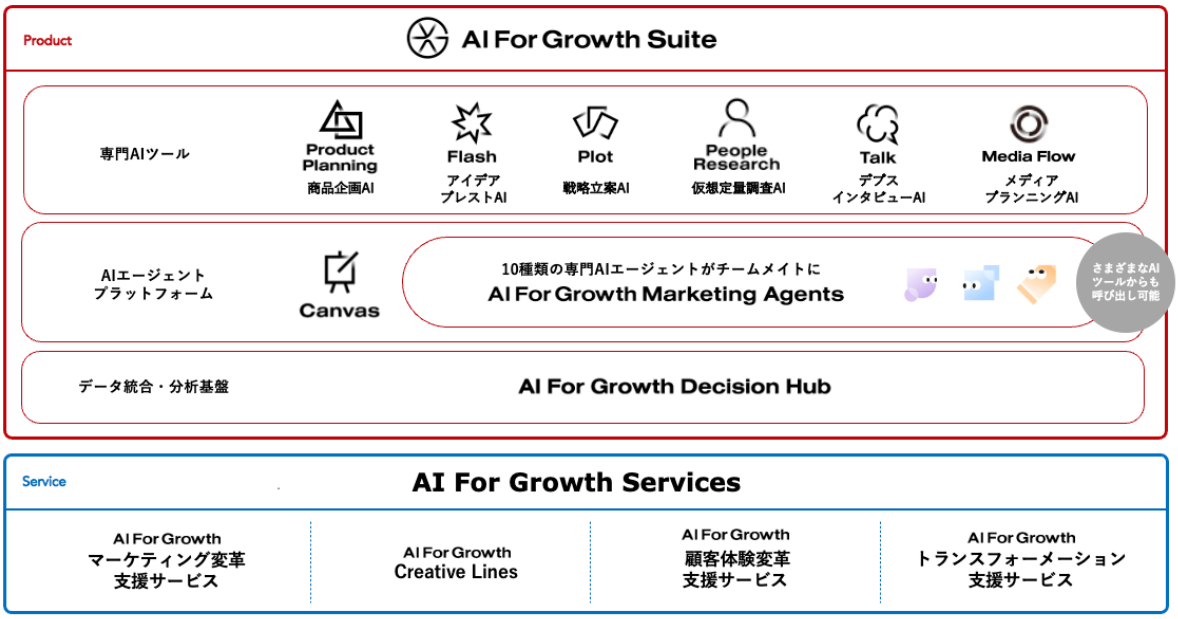
こうした AI アセットを具体的な形として新たに展開するのが、企業のマーケティングプロセス全体を横断する統合 AI プロダクトシリーズ「AI For Growth Suite」です。本シリーズでは、これまでに開発・活用してきたマーケティング領域の AI や新たに開発した機能を統合し、調査・戦略立案・企画・実行・改善といった一連のマーケティング業務を PSDCA モデルで運用します。

併せて、AI ソリューションの実装力を支える「開発体制」「人財基盤」を強化しています。電通総研に新設した「AI 開発センター」※6 を中心に、企業の業務や事業に直結する AI ソリューションを迅速に開発・提供し、約 1000 人の専門人財を擁する「dentsu Japan AI センター」※7 が当社グループの AI ネイティブ化と、企業の AI ソリューションの導入・定着・高度化を横断的にリードしています。また、ガバナンス体制も整備しており、当社グループのグローバルな AI 利活用指針である「電通グループ AI 原則」および dentsu Japan 共通ガイドラインに基づき、AI サービスの提供を実現しています。提供するすべての専門 AI は、最終的な判断・意思決定を人間が行うことを前提に設計しており、当社グループの専門家組織「AI ガバナンスコミッティ」によるリスク管理も継続的に行う体制を整えています。

■「AI For Growth Suite」概要

「AI For Growth Suite」は、当社グループの長年の実践知を組み込んだ複数の「専門 AI ツール」と、AI エージェントプラットフォーム、データ統合・分析基盤によって構成される「統合 AI プロダクトシリーズ」です。1 億人規模の高解像度な AI ペルソナを基にした仮想定量調査で生活者理解を支援する「People Research」※8 や、特定の AI ペルソナとのデプスインタビューや対話を通じてインサイト抽出を行う「Talk」※9、商品企画を行う「Product Planning」、アイデア創出を加速する「Flash」、戦略立案を支援する「Plot」、メディアプランニングを担う「Media Flow」など、マーケティング業務の各工程に対応した「専門 AI ツール」を SaaS として提供します。さらに AI エージェントプラットフォーム「Canvas」※10 には、10 種類のマーケティング専門 AI エージェントがあらかじめ組み込まれており、SaaS 提供だけでなく、企業が既に利用しているさまざまな AI ツールから当社の専門 AI エージェントを API 経由で呼び出して利用できる機能もあります。これらのプロダクトが、調査・戦略立案・企画・実行・改善といった業務プロセスの多くを担うことで、企業のマーケティング活動における意思決定と実行を実践フェーズで支援します。こうしたプロダクトを活用しながら、企業の AI 変革に伴走・支援する専門的なサービスを提供していきます。

AI For Growthプロダクト＆サービス提供



人とAIが高めあうマーケティング AI For Growth　https://www.projects.dentsu.jp/ai-for-growth/

■異なる業務システム・AIツール間の連携のための環境基盤「Marketing Agent Protocol」

こうした専門AIエージェントの実践的な活用をさらに高度化するため、AI同士が連携して質の高い成果を生み出すための環境基盤として「Marketing Agent Protocol」の整備も開始しました。マーケティング調査、企画、制作、配信といった各工程において、AIエージェントが扱う情報や役割、判断基準を共通化する仕組みです。複数のAIが同じプロトコルのもとで連携することで、マーケティング業務全体の質を高めることを目指しており、将来的には、異なる業務システムやAIツール間の連携も視野に入れており※11、既に実証実験を開始しています。

今後も当社グループは、独自のAI戦略である「AI For Growth 3.0」を基盤に、人とAIが共に進化する仕組みの実装により、顧客の競争力強化と社会全体の持続的な成長に貢献していきます。

AI For Growth

国内電通グループは“人間の知（=Intelligence）”と“AIの知”の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく独自のAI戦略「AI For Growth」を推進しています。

AI For Growthについては、以下ウェブページをご確認ください。
https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/

※1：国内電通グループの独自の AI 戦略「AI For Growth」https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/
※2：国内電通グループ、独自の AI 戦略を新ビジョン「AI For Growth」として発表（2024 年 8 月 5 日電通発表）https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/0805-010762.html
国内電通グループ、AI ネイティブ化を加速する独自の AI 戦略「AI For Growth 2.0」を発表（2025 年 5 月 19 日発表）https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2025-0519-000225
※3：「PSDCA」とは、Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）から成る PDCA モデルに、Simulation（シミュレーション）を加えた当社グループ独自のフレームワーク。AI が実行前に複数の選択肢や結果を予測することで、計画の精度向上と手戻りの削減に貢献。
※4：「Creative Thinking Model」とは、当社グループが培ってきたクリエイティブ思考や発想プロセスを体系化した独自 AI モデル。
※5：「People Model」とは、大規模調査データや専門人財の知見をもとに、人の行動や価値観、意識を構造的に捉える当社グループ独自の AI モデル。
※6：電通総研、国内電通グループの AI ソリューション開発の中核機能を集約した AI 開発センター新設（2026 年 1 月 30 日電通総研発表）https://www.dentsusoken.com/news/release/2026/0130.html
※7：国内電通グループ、dentsu Japan AI センターを発足（2025 年 7 月 7 日発表）
https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2025-0707-000240
※8：電通、独自の People Model が基盤のリサーチツール People Research の本格運用を開始（2025 年 11 月 12 日電通発表）https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/1112-010950.html
※9：電通、AI で多様な生活者像を再現する新ペルソナを開発、AI For Growth Talk を運用開始（2026 年 4 月 6 日電通発表）https://www.dentsu.co.jp/news/release/2026/0406-011026.html
※10：電通デジタル、対話型 AI 開発ソリューション「∞AI Chat」を「AI For Growth Canvas」にリブランディング（2026 年 4 月 1 日発表）https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2026-0401-000311
※11：各企業のデータは厳格に分離・管理されたうえで運用されます。

以　上

＜電通デジタルについて＞https://www.dentsudigital.co.jp/
電通デジタルは、国内最大規模の総合デジタルファームです。「人の心を動かし、価値を創造し、世界のあり方を変える。」をパーパスに、生活者に寄り添うクリエイティビティとテクノロジーを統合的に活用することで、あらゆるトランスフォーメーションを実現しています。クライアントの事業成長パートナーとして、共に新たな価値を創造することで、経済そして社会の「変革と成長」を目指しています。

【リリースに関する問い合わせ先】
株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部
北川・宮本　Email：press@dentsudigital.co.jp